新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト（学校向け）

参考資料１

≪マニュアル・連絡網について≫

* 県教育委員会作成の「鳥取県立学校版感染症予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症）」を確認している。
* 自校のマニュアルを確認し、校内職員等の役割分担を把握している。
* 校内の緊急時の連絡体制を確認している。
* いざという時に備え、県教育委員会や保健所への報告書類を整備している。
* 保健所等の相談窓口について、電話番号を掲示するなどして確認している。

≪備品・消毒について≫

* 感染症に備えてマスクの備蓄の確認をしている。
* 感染症に備えて消毒~~薬~~液の備蓄を確認している。
* 児童生徒等がよく手で触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）の消毒を定期的に実施している。

≪健康観察について≫

* 健康観察の実施を徹底し、欠席・早退した児童生徒の健康情報を取りまとめ、校内職員等で情報共有している。
* 保健室の利用状況を集約し、校内職員等で情報共有している。
* 児童生徒の欠席連絡を家庭から受ける際に、聞き取る情報項目をまとめている。
* 学校等欠席者・感染症情報システムに欠席情報を毎日入力している。
* 感染児童生徒の兄弟姉妹等の情報を該当所属校で共有できる体制ができている。
* 日頃から、保健だより等を通じて、家庭へ健康観察の必要性を伝えている。

≪日常の指導について≫

□ 日頃から手洗い、咳エチケット等の重要性を日常的に指導している。

□ 体調が良くない時は、早めに申し出ることなどを日常的に指導している。

□ 日頃から、十分に休養をとり、体力や体の抵抗力を高め、バランスのよい食事をとるよ

う指導している。

≪その他≫

□　感染症の最新情報（流行地域や感染経路等）を入手することを心がけている。

□　感染拡大時には、行事の実施を見直すなど、柔軟な対応を心がけている。

□　日頃から、学校医と連絡を取り合うなど、相談体制が構築できている。

□　感染拡大し、校内職員が多数欠席した場合の、校内運営の想定ができている。

□　日頃から校内職員及び児童生徒の人権意識を高め、感染症を理由とした偏見や差別が生

じないよう配慮した対応を学校全体で心がけている。